



# 令和2年度広島市IR資料

広島市財政局財政課





# 目次

## (広島のまち)

■ 国際平和文化都市	2
■ 行事	5
■ 観光・文化	6
■ 市の概要	7
■ 交通アクセス	8
■ 市のまちづくり	9

## (新型コロナウイルス感染症拡大への対応)

■ 予算の措置状況	15
-----------	----

## (平成30年7月豪雨災害への対応)

■ 決算等の状況	16
----------	----

## (財政状況と健全化への取組)

■ 歳入構造	17
■ 歳出構造	18

■ 市税収入決算の推移	19
■ 基金残高の推移	20
■ 一般会計の市債発行額と残高の推移	21
■ 特別会計・企業会計決算の状況	22
■ 主な出資団体の経営状況	23
■ 「財政運営方針」について	25
■ 健全化判断比率の状況	26
■ プライマリーバランス	27

## (広島市の資金調達)

■ 起債運営	28
■ 市場公募債発行計画	29



# 国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

## 迎える平和の取組み

被爆の実相に触れてもらい、**平和を希求する「ヒロシマの心」**を市民社会に共有してもらう

### 令和元年11月24日「平和のための集い」





# 国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

平和に関する発信力の更なる強化

## 平和記念資料館再整備

東館 平成29年4月リニューアルオープン

新たに被爆前の広島の町並みの姿を紹介するほか、原爆投下により一瞬で廃墟となる様子をコンピュータグラフィックで展示



本館 平成31年4月リニューアルオープン

遺品や被災写真など被爆の事実を直接肌で感じとれる実物資料を中心とした展示



## 旧中島地区被爆遺構の展示整備

被爆前は多くの人々が暮らす町であった旧中島地区の様子と原子爆弾による被害の実相が分かる遺構を発掘・展示



資料館東館北側において被爆遺構を検出



令和3年度末の展示公開を目指す



## スポーツを通じた平和の発信

### ●ピースマッチの開催

リレーメッセージの放映

86ユニフォームの着用

両チーム代表による平和の誓い など



# 行事 ～広島の行事～

フラワーフェスティバル  
(5月3日～5日)



平和記念式典  
(8月6日平和記念公園)



とろう流し  
(8月6日元安川)





# 観光・文化 ～広島観光名所(世界遺産等)～

原爆ドーム  
(世界遺産)



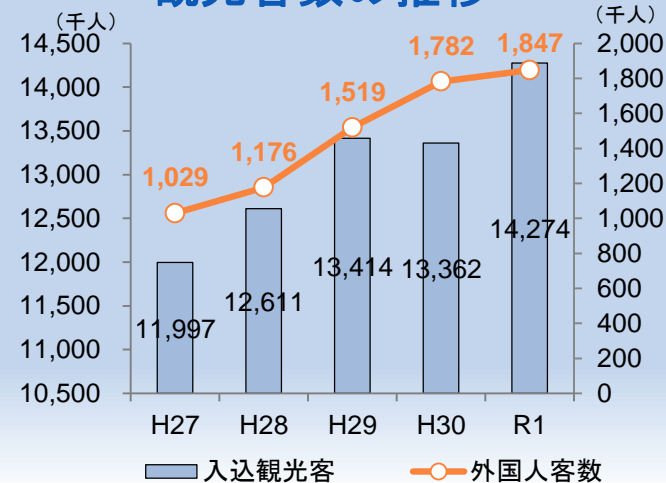
平和記念資料館  
(戦後建築物初の重要文化財)



広島城



観光客数の推移





# 市の概要 ~広島市ってこんなまち~



**1,199,030人**

人口

(令和2年9月1日推計人口)



**906.68km<sup>2</sup>**

面積

(令和元年10月1日現在)



平均気温**17.2℃**

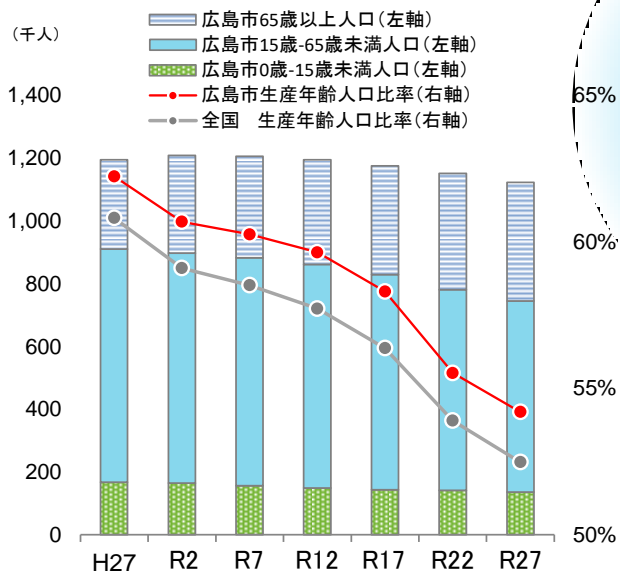
気象

年間降水量**1,382mm**

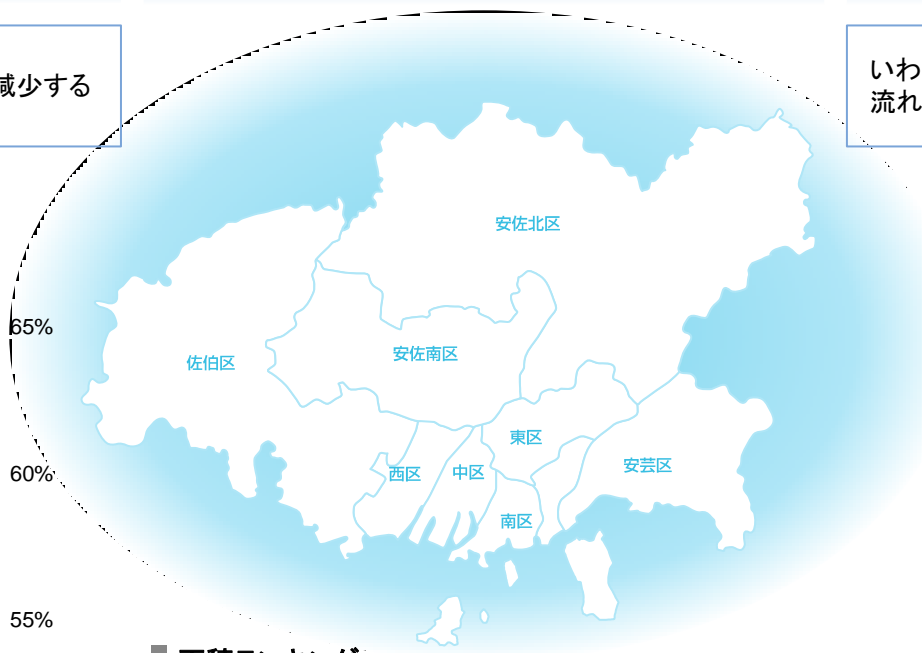
20政令市中第10位の人口を有しています。  
人口は、当面増加傾向を維持した後、緩やかに減少する見込みです。

いわゆる「瀬戸内気候区」に属しており、冬は瀬戸内海に流れ込む暖流の影響もあり、比較的温和な気候です。

## 人口推移・推計



※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計人口(平成30年推計)



## 面積ランキング

順位	都市名	面積(KM <sup>2</sup> )
1	浜松市	1,558.06
2	静岡市	1,411.90
3	札幌市	1,121.26
4	<b>広島市</b>	<b>906.68</b>
5	京都市	827.83
...	...	...

## 略年表

明治22年	市制施行
昭和20年	原子爆弾により壊滅
昭和24年	「広島平和記念都市建設法」公布
昭和55年	政令指定都市広島誕生
昭和60年	人口100万人突破
平成元年	市制施行100周年
平成6年	第12回アジア競技大会広島開催
平成21年	(新)広島市民球場開設
平成22年	政令指定都市移行30周年
平成23年	松井市長就任 (平成27年再任、平成31年再任)



# 交通アクセス ~広島市ってこんなまち~

## 広島市への交通アクセス



### 飛行機で広島空港まで

札幌	約2時間
仙台	約1時間30分
東京	約1時間20分
沖縄	約1時間45分

※広島空港から広島市内中心部までリムジンバスで約50分

### 新幹線で広島駅まで

仙台	約6時間
東京	約4時間
名古屋	約2時間20分
新大阪	約1時間30分
博多	約1時間
鹿児島	約2時間30分

## 広島市内交通

- 自動車専用道路網
- 鉄軌道系交通機関等





## 市のまちづくり ～200万人広島都市圏構想～

周辺24市町の連携により圏域内人口**200万人超**の維持を目指す

- 「ローカル経済圏」の構築
- 広域的公共交通網等の  
充実・強化
- 施策の共同実施や行政資源の相互利用 など

地方分権・地方創生の  
更なる推進



24市町で構成する「広島広域都市圏」

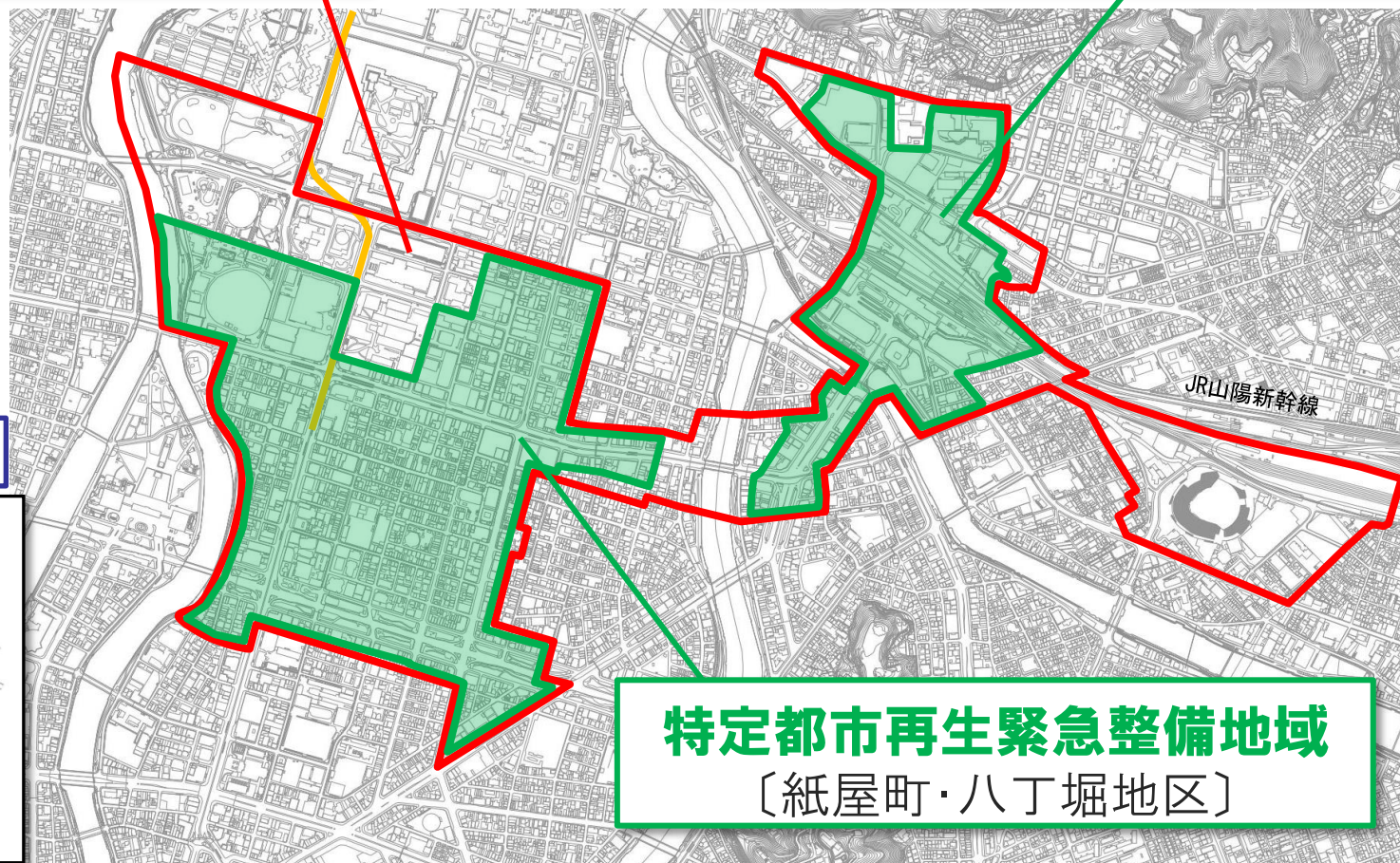


# 市のまちづくり ～都心の大改造～

## 都市再生緊急整備地域等の指定状況

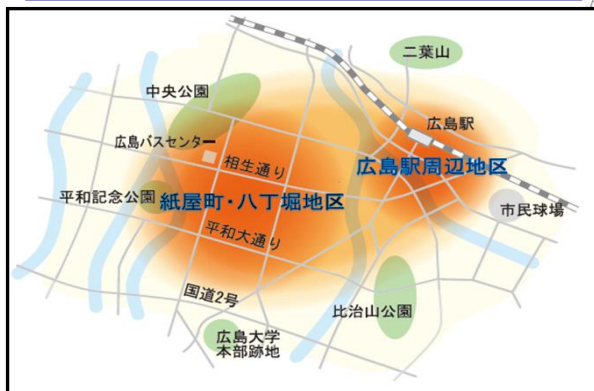
**都市再生緊急整備地域**  
〔広島都心地域〕

**特定都市再生緊急整備地域**  
〔広島駅周辺地区〕



**特定都市再生緊急整備地域**  
〔紙屋町・八丁堀地区〕

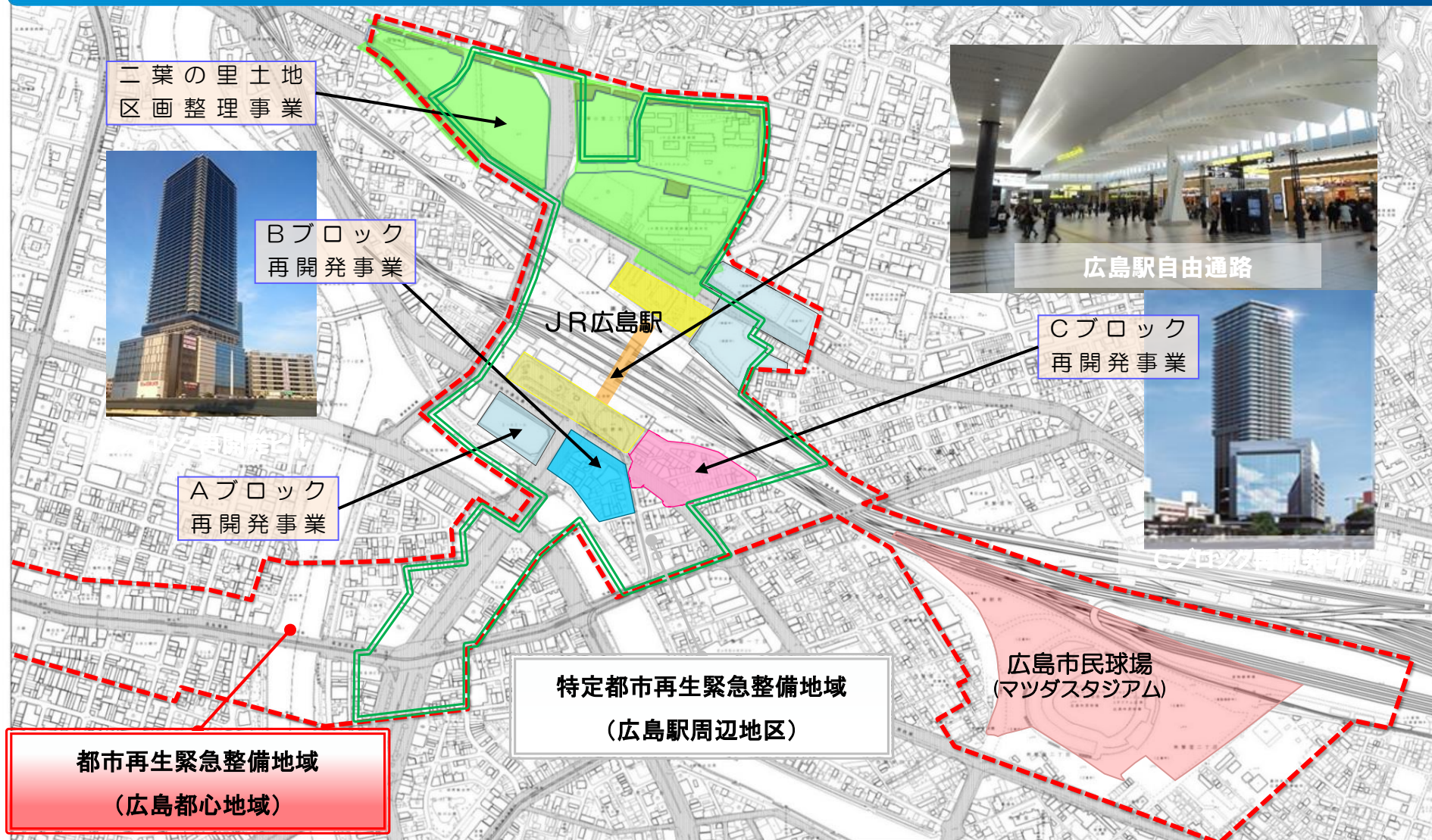
### 「楕円形の都心」のイメージ





# 市のまちづくり ～都心の大改造～

## 広島駅周辺地区の整備





# 市のまちづくり ～都心の大改造～

## 広島駅周辺地域の整備



広島駅南口広場整備のイメージ(内観)



広島駅南口広場整備のイメージ(外観)





# 市のまちづくり ～サッカースタジアムの建設～

広島の新たなシンボル

街なかスタジアム

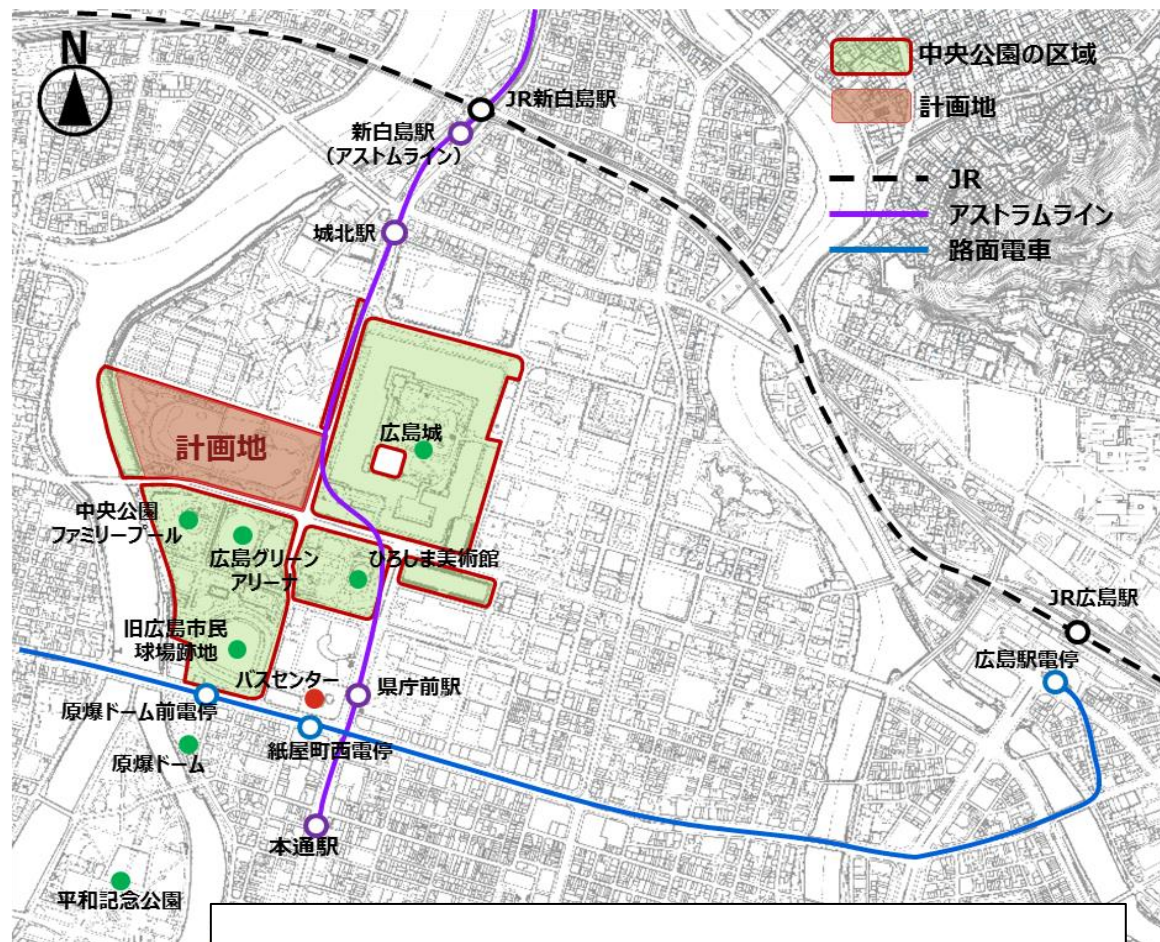
サッカースタジアムの建設



広域的な集客効果  
を高める

広島市ひいては  
広島県全体の  
活性化につながる

サッカーを通じた地域交流や国際交流も期待



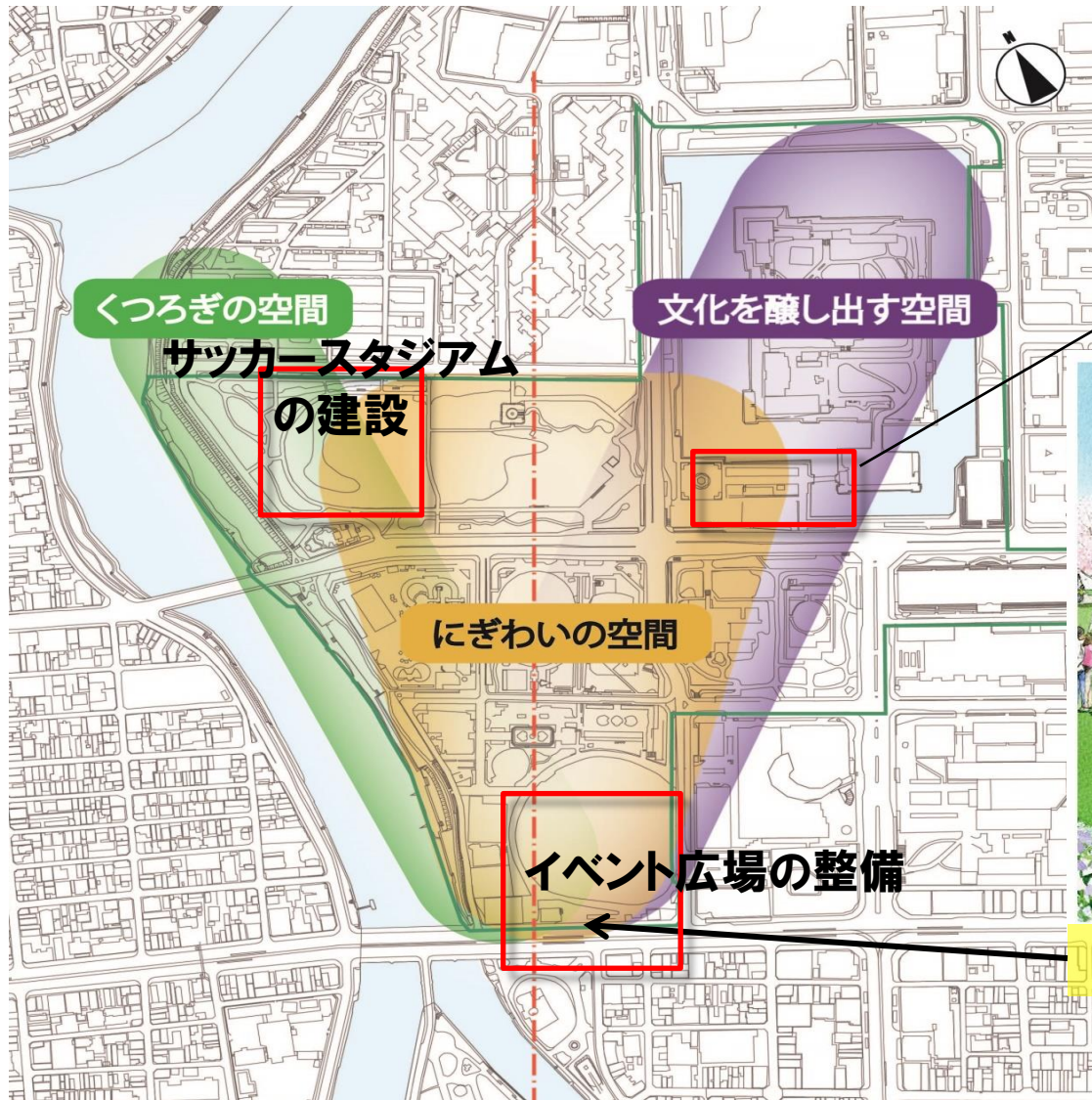
- ・ スタンド下を活用したにぎわい機能の導入等  
年間を通じて人が集まる施設へ
- ・ 中央公園全体を使った大きな周遊ルートの形成  
この一帯が、中四国地方の発展を牽引する  
広島の新たなにぎわいの拠点へ

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業者選定	[Arrow pointing right]			
		基本・実施設計		建設工事



# 市のまちづくり ～旧市民球場跡地を含む中央公園全体の今後の活用～

## 3つの空間特性



広島城三の丸における  
利便施設の整備の検討



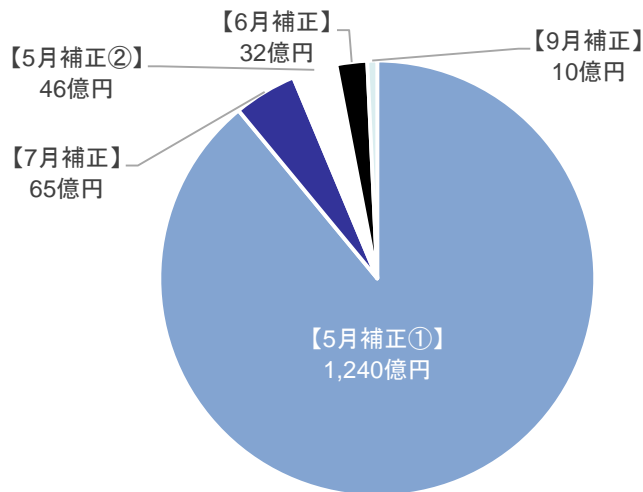
短期的な取組のイメージ(イベント・集客ゾーン)



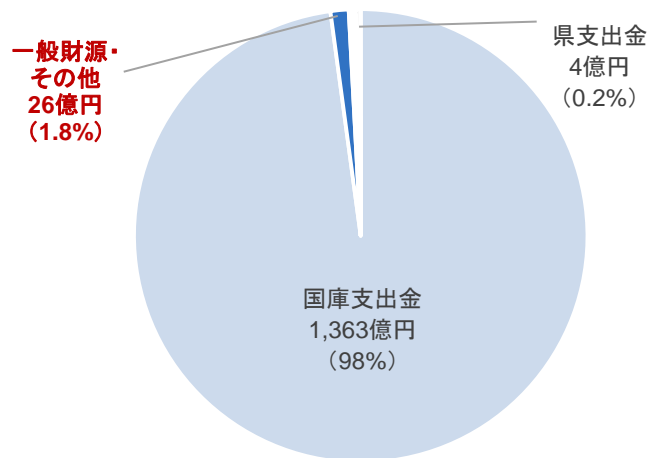
# 新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ～予算の措置状況～

令和2年度補正予算額の内訳(令和2年9月末現在)

補正予算総額 1,393億2,557万円



【財源内訳】



市の一般財源の負担額は18億円(1.3%)

主な事業(新型コロナウイルス感染症関連事業)

5月補正①

事業名	金額
特別定額給付金の支給	1,205億991万円
子育て世帯への臨時特別給付金の支給	16億3,180万円
感染拡大防止協力支援金への負担金	14億3,240万円

5月補正②

事業名	金額
家庭でのオンライン学習などの環境整備	25億2,008万円
社会福祉施設等従事者への支援	3億5,854万円
通所介護事業者等への支援	2億3,026万円

6月補正

事業名	金額
ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給	11億9,589万円
学校の段階的再開に伴う児童生徒等の学びの保障(非常勤講師の配置など)	10億1,594万円

7月補正

事業名	金額
家賃負担軽減を行うテナントオーナーへの支援	30億6,000万円
バス、路面電車等の交通事業者への支援	8億円
診療所における感染拡大防止等の支援	5億479万円



# 平成30年7月豪雨災害への対応 ～決算等の状況～

## 広島市全会計決算等の状況(平成30年7月豪雨災害関連)

### 341億5,720万円(平成30年度～令和2年度)

財源内訳	金額	年度	金額
国・県支出金	117億2,860万円	30年度決算	123億7,218万円
地方交付税	24億8,000万円	元年度決算	88億6,469万円
分担金・負担金	1億6,675万円	2年度予算(※)	129億2,033万円
自己財源(企業会計)	10億8,694万円	合計	341億5,720万円
市債	163億2,043万円		
一般財源	23億7,448万円		

※30年度及び元年度から2年度への繰越予算(約52億円)を含む。

### 主な用途

事業区分	金額
道路橋りょう施設災害復旧	105億9,140万円
河川施設災害復旧	83億5,337万円
民有地災害復旧	54億 847万円
農林業施設災害復旧	26億6,389万円
学校施設災害復旧	5億4,326万円

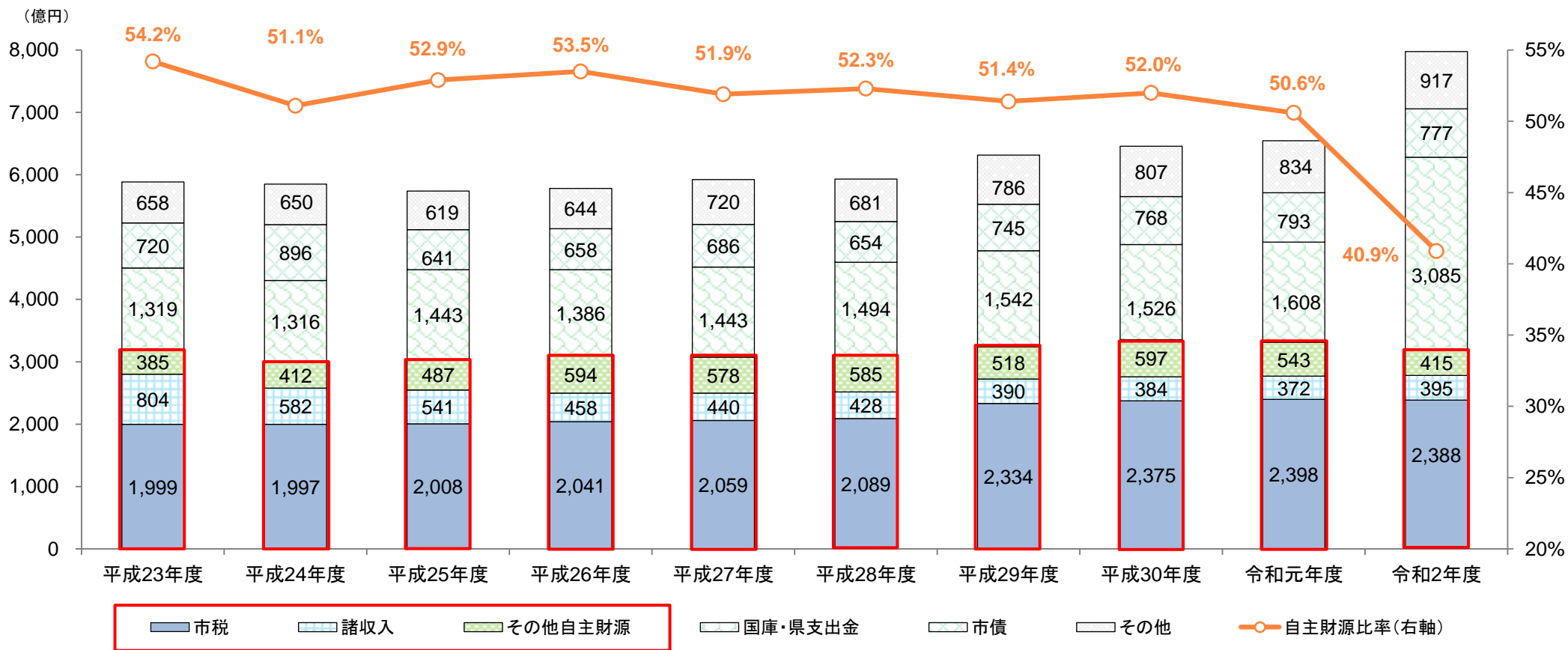
### 令和2年度当初予算の内容

<b>1 災害復旧</b>	<b>63億8,320万円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>河川施設災害復旧</li> <li>道路橋りょう施設災害復旧</li> <li>農業施設災害復旧</li> </ul>	29億7,300万円 28億2,390万円 2億4,287万円
など	
<b>2 被災者への支援</b>	<b>2,250万円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者への仮住宅の提供</li> <li>被災者の健康支援等</li> </ul>	2,177万円 35万円
など	
<b>3 災害を踏まえた防災・減災の取組</b>	<b>8億8,092万円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水排水施設の整備</li> <li>矢口地区内水対策</li> <li>急傾斜地整備復旧資金融資事業</li> </ul>	7億6,700万円 4,900万円 2,537万円
など	
<b>4 復興まちづくりの推進</b>	<b>755万円</b>



# 歳入構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 令和元年度一般会計決算の自主財源比率は50.6%で、自主財源の72.4%が市税である。
- 令和元年度に自主財源比率が低下しているのは、国庫・県支出金収入及び市債が増加したこと等によるものである。
- 平成29年度に市税が大幅に増加しているのは、県費負担教職員制度に係る権限移譲に伴う税源移譲による影響である。



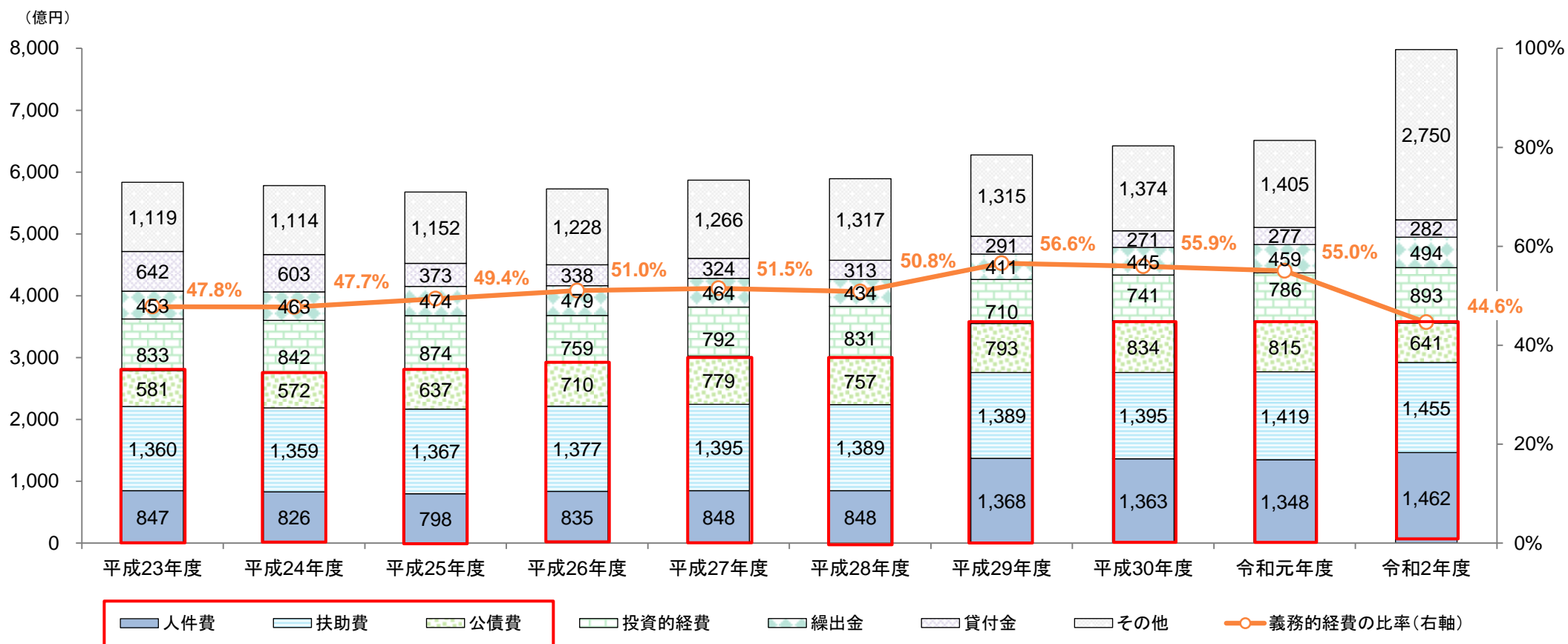
※ 令和元年度までは決算額、令和2年度は9月補正後予算額

※ 平成29年度における県費負担教職員制度に係る包括的な権限の移譲に伴う財源措置分(分離課税所得割交付金及び県民税所得割臨時交付金)については市税に含めている(平成29-30年度・令和元-2年度)。



# 歳出構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 令和元年度一般会計決算の義務的経費比率は55.0%である。
- 令和元年度に義務的経費比率が低下しているのは、歳出全体の増加が義務的経費の増加を上回ったためである。
- 平成29年度より人件費が大幅に増加しているのは、県費負担教職員制度に係る権限移譲による影響である。

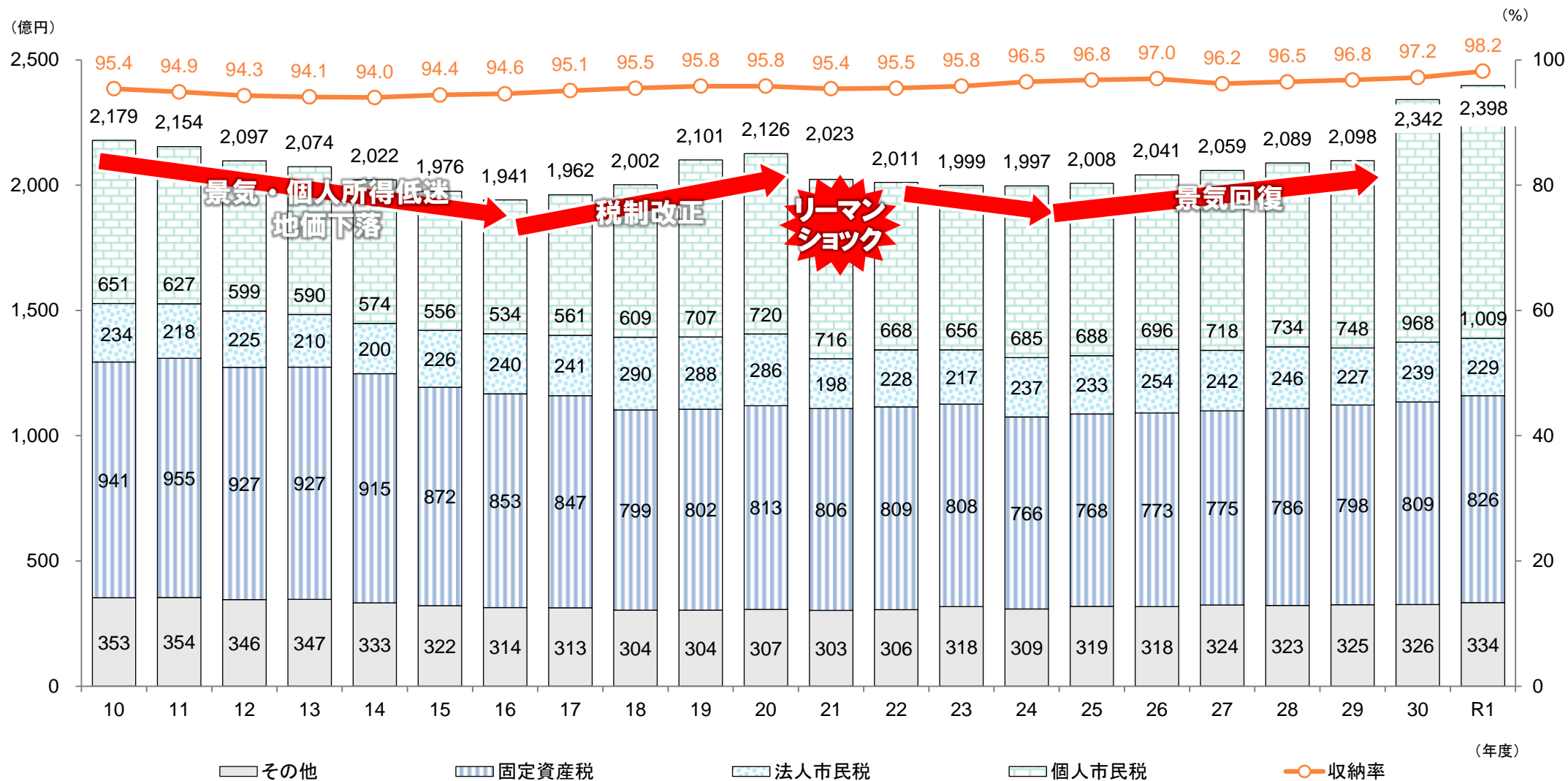


※ 令和元年度までは決算額、令和2年度は9月補正後予算額



# 市税収入決算の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 景気の動向や税制改正の影響を受けて、市税は増減。収納率は、28年度以降は年々上昇している。



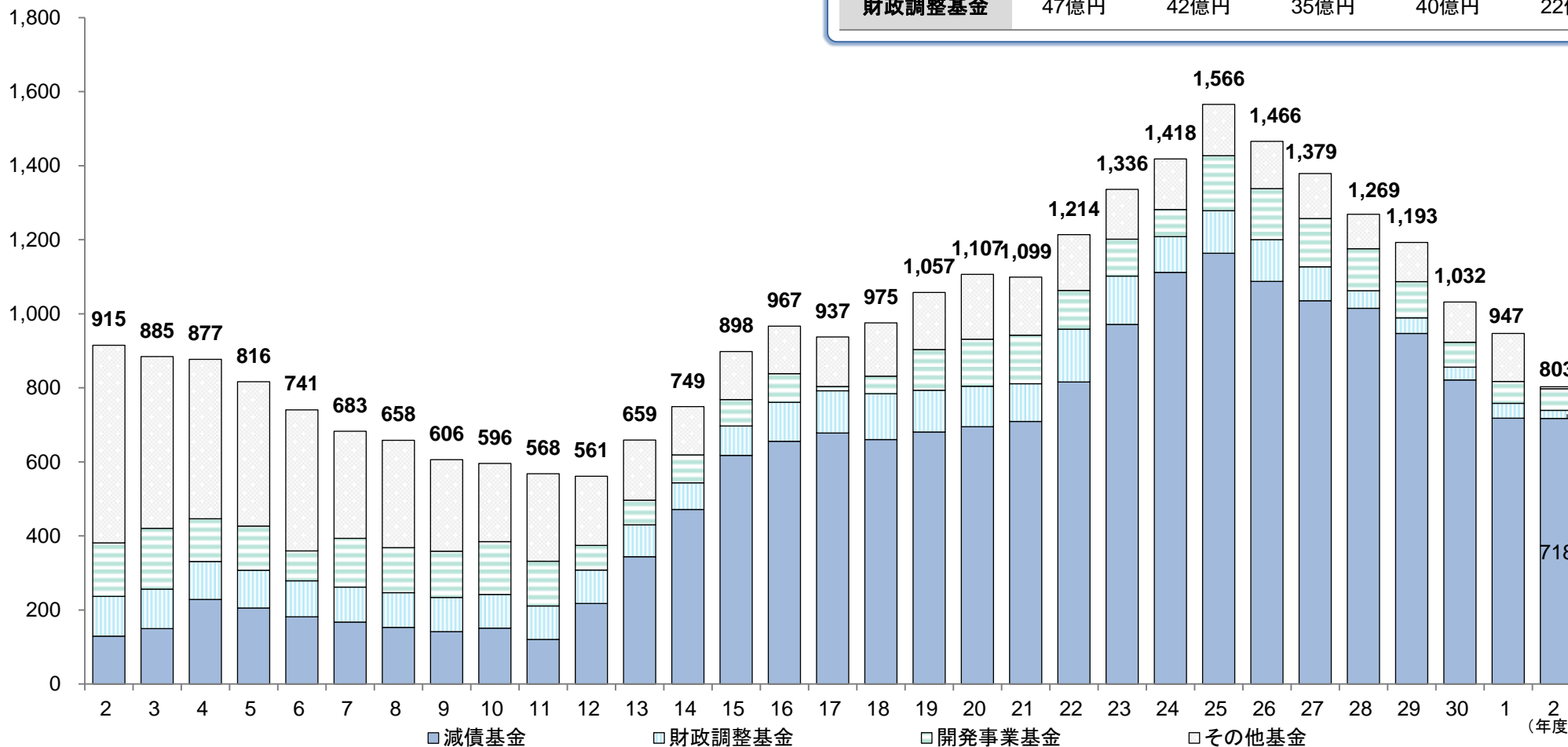
※ 平成30年度は県費負担教職員制度の見直しに伴う税源財移譲等により個人市民税が大幅に増加している。



# 基金残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

## ■ 広島市の基金残高の推移

(億円)



※ 令和元年度までは決算額、令和2年度は9月補正後予算額

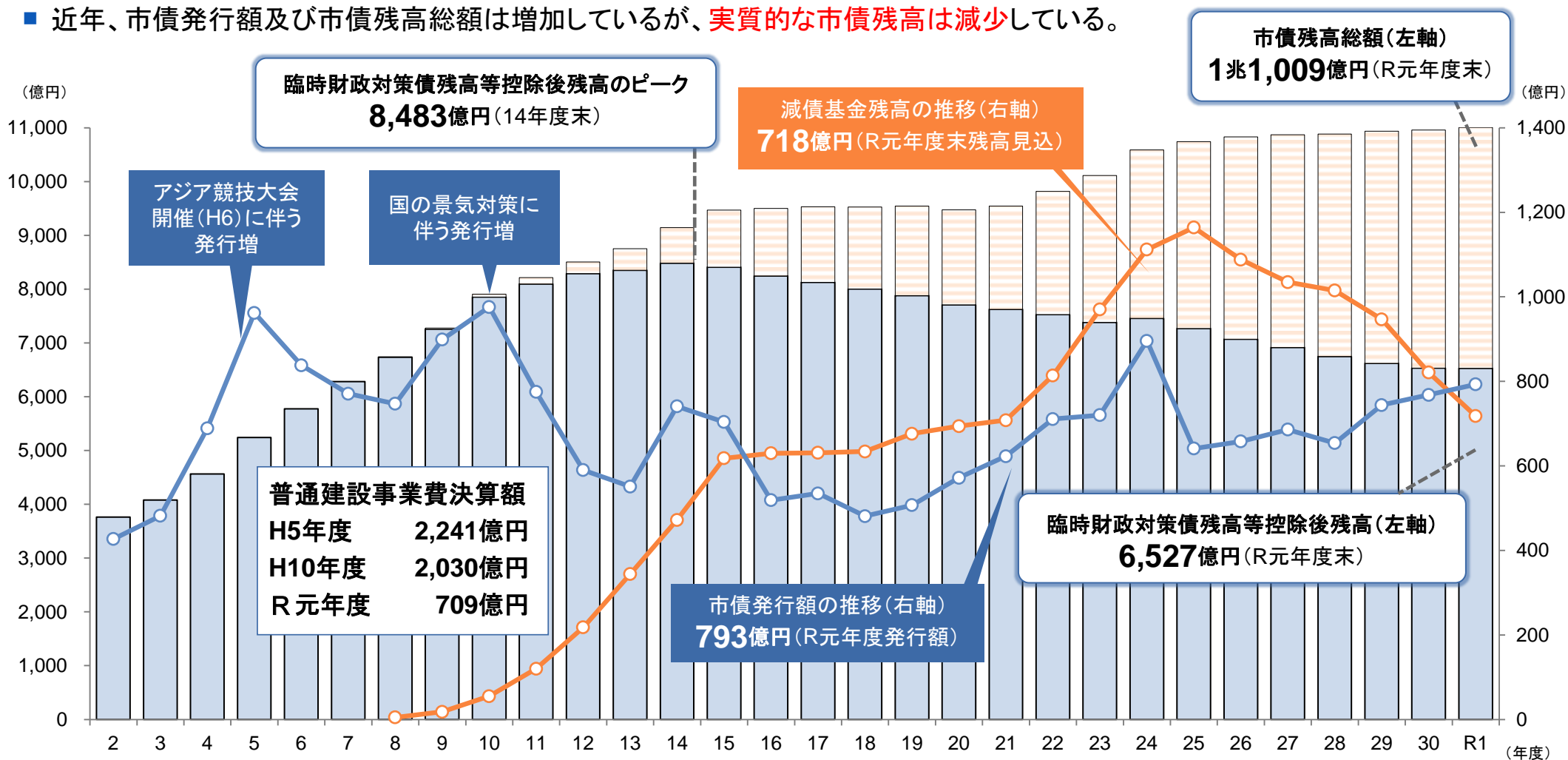


# 一般会計の市債発行額と残高の推移 ~広島市の財政状況と健全化への取組~

臨時財政対策債残高等  
控除後残高とは

市債残高総額から臨時財政対策債の残高と減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高

- 近年、市債発行額及び市債残高総額は増加しているが、**実質的な市債残高は減少**している。





# 特別会計・企業会計決算の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

## 令和元年度決算(特別会計)

(単位:百万円)

会計名	歳入A	歳出B	差引額(A-B)C	翌年度繰越充当財源D	実質収支(C-D)	一般会計からの繰入
<b>特別会計</b>	<b>419,499</b>	<b>416,396</b>	<b>3,104</b>	<b>46</b>	<b>3,058</b>	
住宅資金貸付	3	3	-	-	-	
母子父子寡婦福祉資金貸付	852	375	477	-	477	
物品調達	48	40	8	-	8	
公債管理	163,585	156,585	-	-	-	101,342
広島市民球場	1,018	1,018	-	-	-	
用地先行取得	856	856	-	-	-	
西風新都	883	883	-	-	-	
後期高齢者医療	14,781	14,690	91	-	91	2,368
介護保険	96,528	94,910	1,618	-	1,618	13,944
国民健康保険	112,842	112,842	-	-	-	9,011
競輪	16,056	15,175	881	17	864	
中央卸売市場	2,860	2,831	29	29	-	830
国民宿舎湯来ロッジ等	67	67	-	-	-	57
駐車場	673	673	-	-	-	
開発	932	932	-	-	-	
市立病院機構資金貸付	7,517	7,517	-	-	-	
<b>財産区会計</b>	<b>43</b>	<b>2</b>	<b>42</b>	<b>-</b>	<b>42</b>	
元宇品町財産区	25	1	24	-	24	
三入財産区	7	0	7	-	7	
砂谷財産区	11	0	11	-	11	
<b>合計</b>	<b>419,543</b>	<b>416,397</b>	<b>3,146</b>	<b>46</b>	<b>3,100</b>	<b>127,552</b>

※ 百万円単位に四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

## 令和元年度決算(企業会計)

(単位:百万円)

区分	収益的収支(損益勘定)			資本的収支(資本勘定)					
	収入	支出	収支差引	収入	企業債	支出	企業債償還金	収支差引	補填財源
水道事業	24,320	22,678	1,642	3,820	3,564	12,241	5,649	▲8,421	8,421
下水道事業	43,987	42,613	1,374	37,858	27,954	58,121	42,725	▲20,263	20,263
安芸市民病院事業	2,114	2,117	▲2	117	13	178	165	▲61	61
<b>合計</b>	<b>70,421</b>	<b>67,407</b>	<b>3,014</b>	<b>41,795</b>	<b>31,531</b>	<b>70,540</b>	<b>48,539</b>	<b>▲28,745</b>	<b>28,745</b>

※ 百万円単位に四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。



# 主な出資団体(第3セクター)の経営状況

## ～広島市の財政状況と健全化への取組～

### 令和元年度

(単位:百万円)

区分	広島高速道路公社	株式会社					
		広島市流通センター	広島高速交通	広島駅南口開発	広島地下街開発		
出資	資本金	85,430	1,000	10,000	5,960	100	
	うち本市出資額	42,715	700	5,100	3,762	-	
	(出資比率%)	(50.0)	(70.0)	(51.0)	(63.1)	(43.3)	
貸借対照表	流動資産	14,353	102	4,847	1,038	645	
	固定資産	392,786	4,125	32,340	30,240	11,854	
	繰延資産	340	0	0	0	0	
	資産合計	407,479	4,227	37,187	31,278	12,499	
	流動負債	34,179	158	18,229	776	6,900	
	固定負債	212,373	235	17,976	24,503	12,047	
	特別法上の引当金等	75,363	0	0	0	0	
	負債合計	321,915	393	36,205	25,279	18,947	
	純資産	資本金	85,430	1,000	10,000	5,960	100
	剰余金等	134	2,834	▲ 9,018	39	▲ 6,548	
	純資産合計	85,564	3,834	982	5,999	▲ 6,448	
	負債・純資産合計	407,479	4,227	37,187	31,278	12,499	
損益計算書	営業収益 a	13,028	462	4,851	2,171	1,123	
	営業費用等 b	12,395	225	4,271	1,540	1,070	
	営業利益 c = a - b	633	237	580	631	53	
	営業外収益 d	736	1	3	13	11	
	営業外費用 e	1,369	5	40	339	53	
	経常利益 c + d - e	0	233	543	305	11	
	特別損益	0	0	38	▲ 3	0	
	当期利益(税引前)	0	233	581	302	11	
	当期利益(税引後)	0	162	385	209	11	

※ 広島地下街開発(株)は、平成22年度に資本金を1億円に減資しているが、本市の出資比率は、従前同様43.3%である。



# 主な出資団体(第3セクター)の経営状況

## ～広島市の財政状況と健全化への取組～

### ■ 経営状況・事業計画

広島高速道路公社	<ul style="list-style-type: none"><li>令和2年度は、事業中路線である広島高速5号線において、トンネル工事等を進める。</li></ul>
広島市流通センター(株)	<ul style="list-style-type: none"><li>自動車運輸業界においては、国内貨物の輸送量は対前年度1.1%減となった。また、当トラックターミナルにおいてウエイトの高い特別積合せトラック輸送関連の輸送量も対前年度3.7%減となった。こうした状況の中、トラックターミナル部門の収入は、バースの利用が増加したこと等により、総売上高は4億6,230万9千円となった。</li><li>令和2年度は、国内貨物の輸送量の減少が見込まれるものの、トラックターミナル部門において令和3年3月上旬まで全てのバースが利用される見込みであることなどから、引き続き黒字を確保する見込である。</li></ul>
広島高速交通(株)	<ul style="list-style-type: none"><li>令和元年度は、年間輸送人員は2,401万4,025人、1日平均で6万5,612人となり、前年度と比較して1日平均で158人、0.2%の増加となった。当期純利益は3億8,528万円となり、8年連続して単年度黒字となった。また、累積損失は前年度から3億8,528万円減少し、90億1,844万円となった。</li><li>令和2年度は、沿線の魅力づくり創出や地域情報の発信、イベントの実施、関連グッズの販売等により、利用者の増加を目指す。</li></ul>
広島駅南口開発(株)	<ul style="list-style-type: none"><li>令和元年度は、売上高は、テナント賃料の減少などにより、対前年度2億1,155万円減の21億7,108万円、売上原価は、エールエールA館の修繕費の減少などにより、対前年度2,301万円減の14億4,350万円、営業利益は、対前年度1億9,181万円減の6億3,104万円となった。</li><li>令和2年度は、専門店街全体の魅力アップと売上の維持・向上、駐車場や地下広場の利用促進といった取組を進め、引き続き、平成17年に6月に議会に承認された経営改善スキームに基づき、長期的に健全で安定した会社経営に取り組む。</li></ul>
広島地下街開発(株)	<ul style="list-style-type: none"><li>開業19年目を迎えた令和元年度は、平成18年2月市議会で承認された経営改善スキームに基づき販売費及び一般管理費などの経費の削減に努め、2年振りに経常利益を計上した。また、当期純損益は、対前年度3,176万円増の1,107万円の黒字となった。</li><li>令和2年度は、最重要課題である空き区画の解消に向けて、令和元年度に実施した店舗誘致業務の外部委託の成果等を踏まえて、引き続き、当社と外部業者の連携により、来街者のニーズを捉えた店舗誘致に努める。さらに、地元プロスポーツ団体と連携した情報発信などにも引き続き取り組み、経営基盤の強化と都心のにぎわい創出の両立を目指す。</li></ul>



# 「財政運営方針」について ～広島市の財政状況と健全化への取組～

## 「財政運営方針(平成28年度～令和元年度)」

### 基本方針

都市としての  
活力を生み出す財政運営

まちづくりを支え続けることが  
できる財政運営

将来のまちづくりを  
見据えた財政運営

### 目標

#### 収支の均衡

各年度において歳入確保・歳出削減に努め、計画期間における**収支の均衡**を図る。

#### 市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高を、平成28年度から令和元年度までの4年間で**1割程度減少**させる。

### 達成状況

#### 中期見通しで見込まれた収支不足を解消

- 平成28年度決算  
101億円の収支不足見込みを解消
- 平成29年度決算  
146億円の収支不足見込みを解消
- 平成30年度決算  
130億円の収支不足見込みを解消
- 令和元年度決算  
134億円の収支不足見込みを解消

#### 市債残高抑制目標

- 平成28年度決算  
計画残高 6,949億円 → 実績残高 6,748億円(▲201億円)
- 平成29年度決算  
計画残高 6,770億円 → 実績残高 6,621億円(▲149億円)
- 平成30年度決算  
計画残高 6,610億円 → 実績残高 6,532億円(▲78億円)
- 令和元年度決算  
計画残高 6,410億円 → 実績残高 6,527億円(+117億円)  
※30年7月豪雨災害に対応するための市債(元年度末残高78億円)などの影響により、計画を上回った。

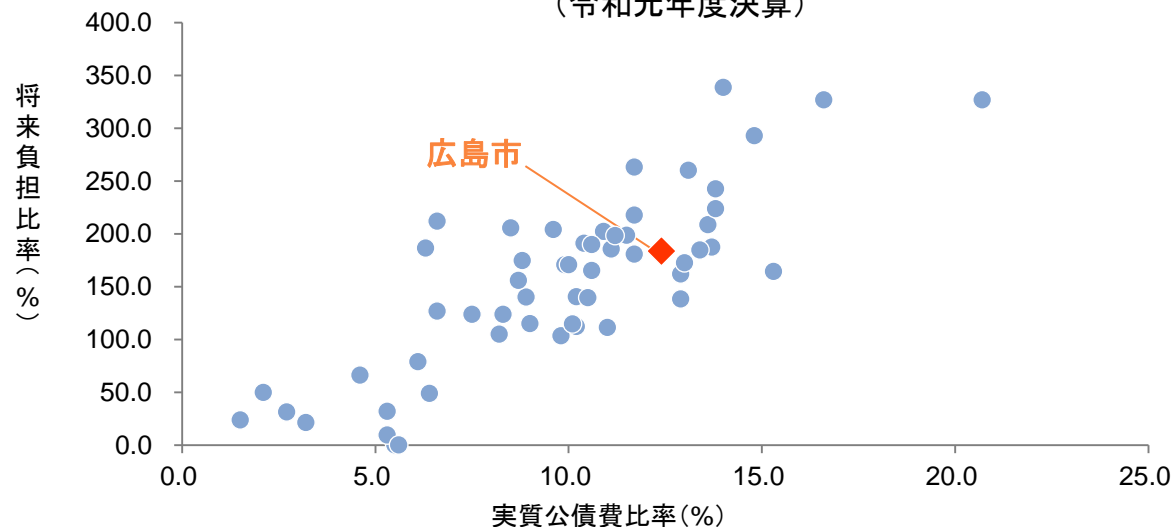


# 健全化判断比率の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

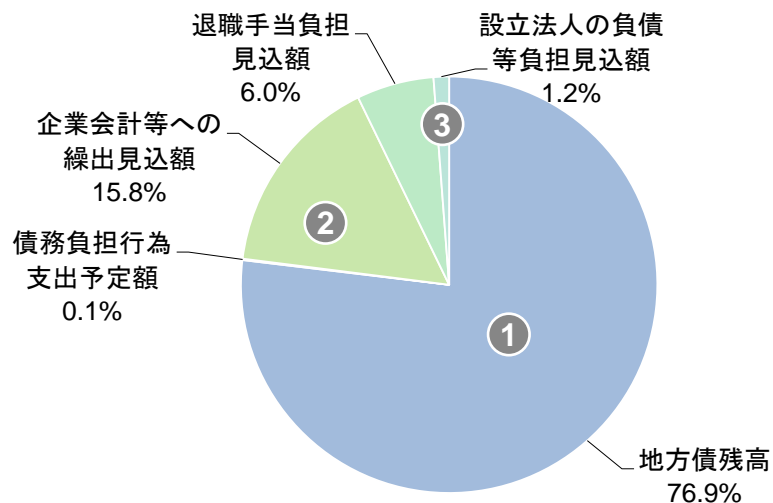
- 実質公債費比率、将来負担比率とも、財政の健全化等に取り組む必要がある基準値には達していない。

区分	広島市の状況			早期健全化基準	財政再生基準
	H29	H30	R1		
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			16.25	30.00
実質公債費比率	13.8	13.1	12.4	25.0	35.0
将来負担比率	199.6	190.4	183.7	400.0	—

市場公募地方債発行56団体の健全化判断比率の分布状況  
(令和元年度決算)



- 将来負担額(令和元年度算定) 14,892億円



① 地方債残高 (億円)	
一般会計債	11,009
うち道路橋りょう・都市計画事業債	3,587
うち臨時財政対策債	3,893
うち教育関係事業債	809
特別会計債	449
<b>合計</b>	<b>11,458</b>

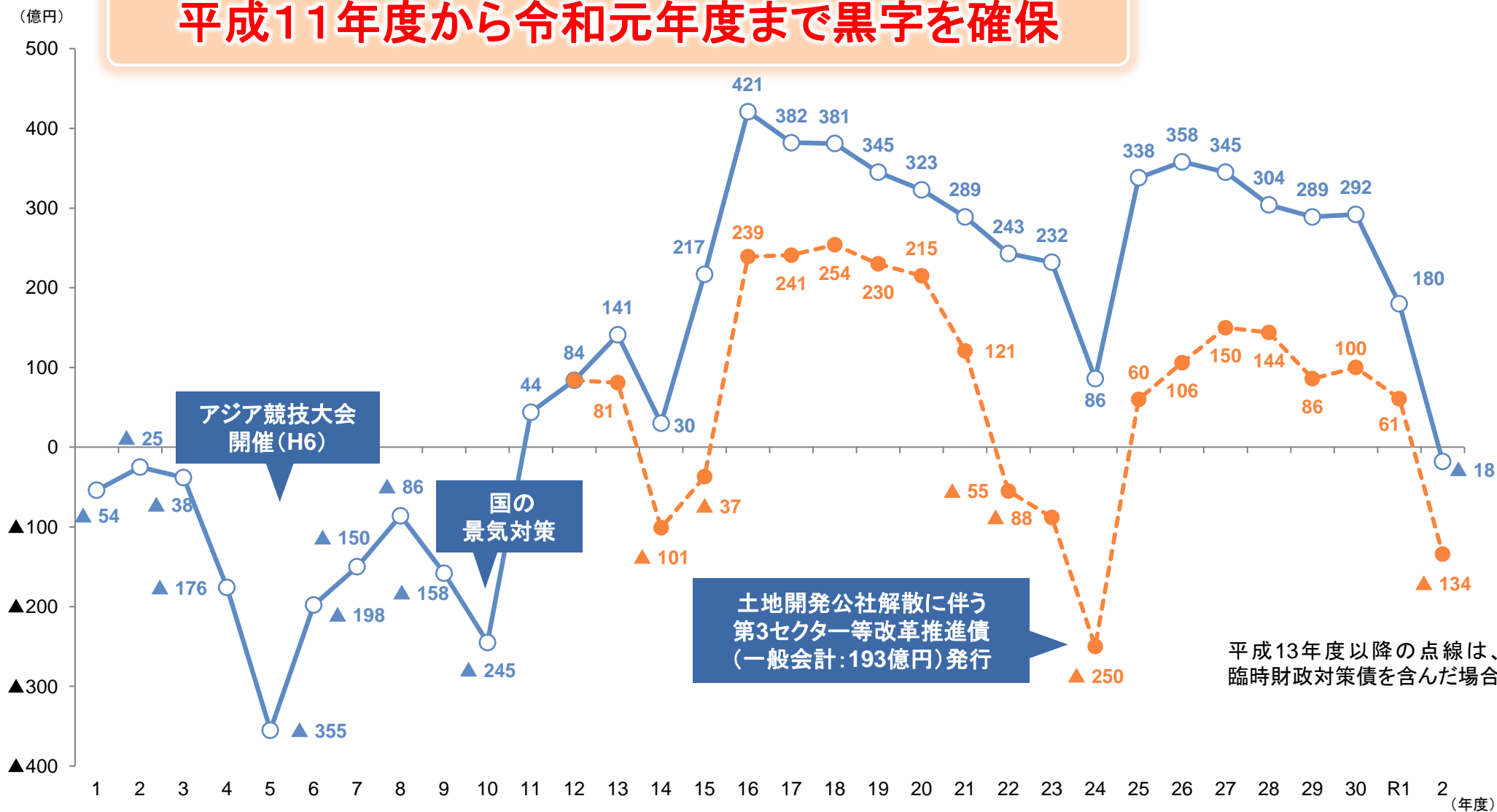
② 企業会計等への繰出見込額 (億円)	
水道事業	29
下水道事業	2,291
安芸市民病院事業	8
中央卸売市場事業	13
その他	5
<b>合計</b>	<b>2,346</b>

③ 設立法人の負債等負担見込額 (億円)	
広島地下街開発(株)	12
広島高速交通(株)	140
その他	25
<b>合計</b>	<b>177</b>



# プライマリーバランス ～広島市の財政状況と健全化への取組～

平成11年度から令和元年度まで黒字を確保



※ 令和元年度までは決算ベース、令和2年度は9月補正後予算ベース



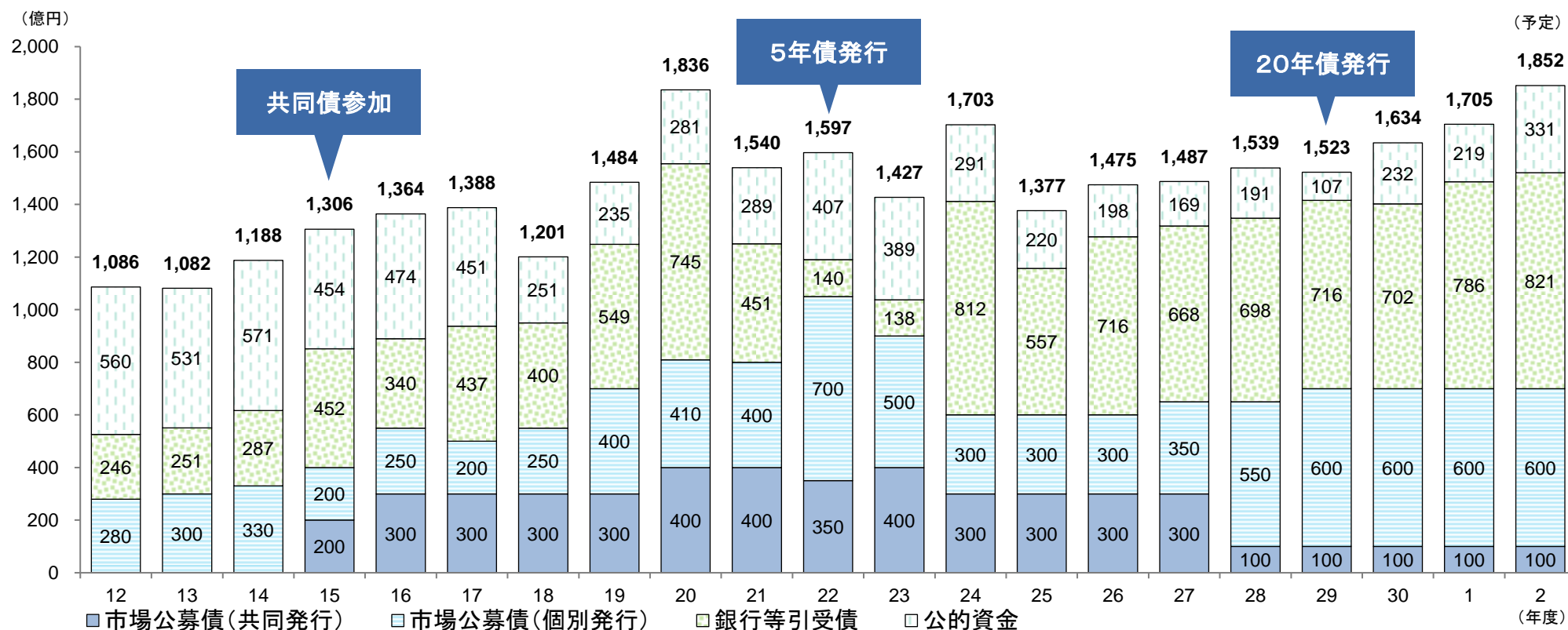
# 起債運営 ～広島市の資金調達～

## 資金調達の方針

### 公的資金から民間資金へ

- 民間資金へのシフトに伴い市場公募化等を推進
- 昭和57年度に全国型市場公募債発行団体となり10年債を発行開始、平成22年度から5年債を発行、**平成29年度から20年債を発行**
- 平成15年度から共同発行市場公募債の発行開始、広島市も参加

#### 市債発行額の推移





# 市場公募債発行計画 ～広島市の資金調達～

## 令和2年度 発行計画 (10月までは発行実績)

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別発行 (※)	5年			100				100						200
	10年									100		100		200
	20年					100			100					200
共同発行	10年			30			20		30			20		100
合計		0	0	130	0	100	20	100	130	100	0	120	0	700

## (参考) 令和元年度 発行実績

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別発行 (※)	5年			100				100						200
	10年									100		100		200
	20年					100			100					200
共同発行	10年			30			20		30			20		100
合計		0	0	130	0	100	20	100	130	100	0	120	0	700

## (※) 個別発行の利率

年限	発行月	発行日	表面利率	応募者利回り
5年	6月	R02.06.25	0.020%	0.020%
	10月	R01.10.25	0.001%	0.001%
	6月	R01.06.25	0.010%	0.010%
10年	10月	H30.10.25	0.020%	0.020%
	2月	R02.02.25	0.115%	0.115%
	12月	R01.12.25	0.110%	0.110%
20年	8月	R02.08.21	0.435%	0.435%
	11月	R01.11.21	0.355%	0.355%
	8月	R01.08.21	0.200%	0.200%



# 【ご参考】広島市のSDGs達成に向けた取組

## 「国際平和文化都市」の具現化に向け、目標として明確化

### 【世界に輝く平和のまち】

#### ■ 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現

- 世界平和の創造に向けた連帯の推進
- 国際世論の醸成



#### ■ 「ヒロシマの心」の共有の推進

- 「迎える平和」の推進
- 被爆体験の継承・伝承



#### ■ 世界の平和と市民生活の安寧の確保に向けた貢献

- 世界の平和に貢献する調査・研究等
- 市民生活の安寧を脅かす諸問題の解決に向けた活動の推進



### 【国際的に開かれた活力あるまち】

#### ■ 都市機能の充実強化

- 楕円形の都心づくりの推進
- 公共交通を軸とした交通体系の構築



#### ■ 産業・観光の振興

- 産業の集積・強化
- 中小企業・商店街の活性化
- 広域周遊観光の取組の推進
- 誘客拡大と観光消費額増大に向けた取組の推進



#### ■ 国際交流・国際協力や多文化共生の推進

- 外国市民の暮らしやすさに配慮したまちづくりの推進
- 多文化共生意識の高揚



#### ■ 広島広域都市圏の発展への貢献

- 「ローカル経済圏」の構築等
- 生活関連サービスの連携強化
- 行政資源の相互利用等



### 【文化が息つき豊かな人間性を育むまち】

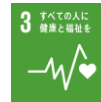
#### ■ 文化・スポーツの振興

- 平和文化の普及・振興
- 伝統芸能・文化遺産の適切な保存・活用とその継承
- スポーツを通じたまちの活力創出



#### ■ 保健・医療・福祉の充実

- 健康づくりの推進と医療提供体制の充実
- 高齢者が安心して暮らせる社会の形成
- 障害者の自立した生活の支援
- 原爆被爆者の援護施策の充実



#### ■ 未来を担う子どもの育成と教育

- 全ての子どもが健やかに育つための環境づくり
- 一人一人を大切にす教育の実現



#### ■ 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備

- 災害に強い都市構造の形成





# 【ご参考】広島グルメガイド



カキ料理



お好み焼き



アナゴ丼

## 広島オススメグルメ



汁なし担々麺



山フグ (刺身コンニャク)



広島菜漬



もみじ饅頭



レモンケーキ



# 広島を世界に誇れる「まち」に

## 「対話・ビジョン・実行」によって市政に活力を生み出す

### 対話

広島「秘めたる力」を引き出す  
一連の対応や行動

### ビジョン

夢であると同時に展望であり、  
実現するためのもの

### 実行

ビジョンを大切にしながら、  
今置かれた状況に真剣に向き合い、  
確実に実現

### 本資料に関するお問い合わせ先

広島市財政局財政課資金係（担当 森岡、岡本）

- TEL 082-504-2074
- FAX 082-504-2099
- E-mail [zaisei@city.hiroshima.lg.jp](mailto:zaisei@city.hiroshima.lg.jp)
- HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/index2.html>
- トップページ ▶ 市政全般 ▶ 広島市の概要 ▶ 市の財政 ▶ 市債・投資家情報

本資料は、広島市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません。

本資料中、令和元年度決算に係る数値等については、令和2年10月時点の見込であり、今後変更となる可能性があります。